

あとかき

当協会にて、「コンピュータシステムの販売量並びに販売形態に関する調査報告書」として、1997年度に始まった調査研究報告活動も今年度で25年目となり、本報告書は四半世紀にわたる活動と成果をお伝えする区切りの版となる。その節目となるタイミングで、本年度はサポートサービス委員会として大きな方向転換の決断をした。すなわち、ニューノーマル下の環境に即して、印刷物としての報告書発行・配布を中止し、Webでの閲覧を主としたデジタル化を進めることにした。そのために、委員会の中に調査研究活動とは別に、デジタル化推進チームを構成し、配布・閲覧形態について年間を通して検討の上、実施した。

これまで印刷物としての報告書は、回答協力企業、当協会関係団体や会員各社等に、基本的に1社1冊の配布であったが、デジタル化により各組織内の多数の方々にとどこからでもアクセス、閲覧していただくことができる。また、双方向性の実現も大きなテーマの一つで、内容についての評価やコメントを入力できるスキームを実現した。今後、利便性や有効性をさらに高められるように、デジタル化の内容をより充実していく所存だが、まずはそのための第一歩を踏み出せたものと思う。

なお、今年度も本報告書と併せて、ITに関する易しい解説を、事例集という形で作成した。テーマは調査研究報告と同じで、「働き方改革」、および「デジタルトランスフォーメーション」となっている。委員会メンバーが、自社事例から公開可能な事例を抛出・執筆した力作なので、ぜひ参考にしてください。事例集も報告書と同様にデジタル化し、Webでの閲覧が可能で、評価やコメント入力が可能となっている。さらに、協会ホームページにて一般公開しているので、広く多くの方々には参考資料としてぜひお読みいただきたい。協会活動や制作物を知っていただくのにも有効と思われる。

さて、今年度は昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染対策による影響のもと、当協会サポートサービス委員会も引き続きいろいろな制限を受けての活動を強いられた。委員会活動のうち、ディスカッションの場としては、4回の主委員会、8回のワーキングチーム会議、9回の執筆会議、さらに30回のデジタル化推進チーム会議を開催した。そのほぼ全ては、オンライン会議ツールを利用したもので、1回だけ会議室参加とWeb参加のハイブリッド開催を試みたが、その際も過半はWeb参加であった。コロナ禍対策もあるが、Web参加の利便性、有効性を実感しているメンバーが多数いるのではと思われる。

結びとして、本報告書や事例集が、より多くのご協力会社、協会会員、および広く関係各位のご参考になり、ビジネスのお役に立つことを、委員会メンバー一同と共に事務局としても切に願っている。

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
サポートサービス委員会 事務局